

地区対抗駅伝競走大会
新コースで荒砥チームが2連覇

町誕生63周年記念地区対抗駅伝競走大会は10月8日、町内16区間を結ぶ総距離34・3キロの新コースで行われました。

レースは序盤、4区までの小学生区間を鮎貝チームがトップ通過。続く5区で荒砥チーム、6区で鷹山チームが首位に立つと、その後は両チームによる首位争いが終盤まで続き、そのままアンカー勝負へ。約10秒差の2位でたすきを受けた荒砥チーム竹田則幸選手が鷹山チームの小形富幸選手をかわし、仲間の待つゴールへ勢いよく飛び込み2連覇を成し遂げました。

大会結果

1位	荒砥	2時間 02分 38秒
2位	鷹山	2時間 03分 04秒
3位	十王	2時間 07分 04秒
4位	蚕桑	2時間 07分 06秒
5位	鮎貝	2時間 10分 37秒
6位	東根	2時間 12分 26秒



優勝のゴールテープを切った竹田選手を胴上げ。喜びに沸く荒砥チーム



選手の汗とチームの思いがこもったたすきを笑顔でリレー



健康福祉センター前を勢いよくスタートする1区の小学生ランナー

優れた技術でがんの早期発見を——
町立病院に最新型のマンモグラフィー

町立病院に最新型のマンモグラフィー装置（乳房X線撮影装置）が導入され、10月下旬から運用が開始されました。

新装置は3D機能搭載で乳腺の重なりが少ない断層画像を得られ、乳がんのさらなる早期発見が期待できます。町民の皆さんには、この機会に乳がん検診へ関心を持っていただき、積極

的に受診していただきたいと思えます。

なお、町立病院ではレディース検診や人間ドックのオプションなど、マンモグラフィーによる乳がん検診を行っています。詳しくは、お問い合わせください。

【問い合わせ】

白鷹町立病院
☎85-21155

女性がいつまでも健康でいられるように
婦人科がんの検診と予防について講演

10月3日に「婦人科のがんをもっと知ろう！〜検診と予防〜」をテーマに健康づくり講演会が健康福祉センターで開催されました。

講演では、山形大学医学部産科婦人科学講座の永瀬智教授が、卵巣がんや子宮がんなど婦人科の病気についてわかりやすく解説。「気

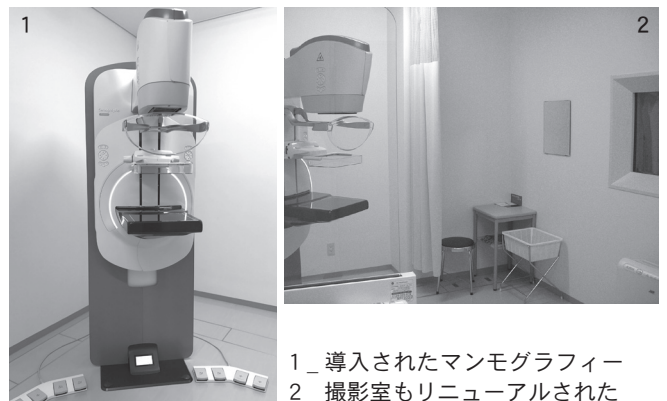
になつたらまず受診すること」、「かかりつけの婦人科をもつこと」などを提言しました。

参加者は講演の内容を身近な問題としてとらえ、メモを取ったり永瀬教授へ質問されるなど、話に熱心に耳を傾けていました。

- ・子宮頸がん 検診を受!
- ・子宮体がん 不正出血を 適切な食事



パワーポイントを使って解説する永瀬教授



1_ 導入されたマンモグラフィー
2_ 撮影室もリニューアルされた